

講義名	コミュニケーション論			授業形態	
担当教員	佐藤 彰宣	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
				ナンバリング・コード	SOC281

主題と概要
近年、社会の様々な場面で「コミュニケーション」の重要性が強調されている。だが、そもそも「コミュニケーション」とは何を意味するのだろうか。本講義では、多義的な意味が包含されている「コミュニケーション」について、主として社会学の視点から検討する。具体的には、現代社会のなかでコミュニケーションのあり方がいかに成立しているのかについて、社会学の概念や理論を隔り交ぜながら考察する。

到達目標
・近現代社会におけるコミュニケーションの意味や仕組みを論じることができる。 ・コミュニケーションについての社会学の概念・理論を理解し、説明することができる。 ・コミュニケーションにまつわる社会・文化現象を社会学の視点から分析することができる。

提出課題
授業内で 平常点課題 期末レポートを課す。 平常点課題については、毎回の授業内で課し、Campus-Xsでの提出をもって出席とする。なお授業日数の3分の1を超えて欠席した場合は、成績対象外とする。 いずれの課題においても剽窃（出典を表記しないネット記事の書き写し・コピペ）は不正行為とみなす。他の人の課題を写す/写させる行為も不正行為である。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
平常点課題として寄せられたコメント・質問を、毎回授業内で適宜紹介し、応答する。

評価の基準
成績評価は 平常点課題（30％） 期末レポート（70％）によって行う。 これらにおいては、（１）授業理解度（授業で扱った概念や理論について理解・説明できているか）、（２）分析・考察（授業で学んだ概念や理論を用いて、特定の現象の原因や仕組みを論理的に説明できているか）を問う。

履修にあたっての注意・助言他
日常生活のなかでもコミュニケーションの意味を改めて振り返って考えることや、コミュニケーションに関する情報や知識を積極的に集めておくことで、授業内容についての理解もより深まることが期待される。

教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.社会学。		長谷川公一ほか	有斐閣		9784641053892
.コミュニケーション・スタディーズ。		渡辺潤（監修）	世界思想社		9784790717485

その他
適宜レジュメを配布する。上記以外の参考文献は自らのなかで別途案内する。

授業計画
1. 授業の導入：「コミュニケーション」とは？なぜ「コミュニケーション」に注目集まる？ 予備内容：シラバスおよび参考図書などを用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：授業概要について授業資料および参考図書などを用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 2. 社会におけるコミュニケーション ①としての相互行為 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：相互行為について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 3. 相互行為と自己 ②役割取得と社会化 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：役割について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 4. 相互行為と自己 ③「ひと」・「こと」・「場所」の無関心 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：自己について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 5. 公共空間における相互行為 ④通勤と移動 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：通勤について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 6. 公共空間における相互行為 ⑤プロクセミクス 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：プロクセミクスについて授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 7. 公共空間における相互行為 ⑥儀礼的無関心 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：儀礼的無関心について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 8. 公共空間と都市空間 ⑦雑居 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：公共空間の相互行為について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 9. 公共空間と都市空間 ⑧通学と移動 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：通学実験について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 10. 都市空間と公共空間の分離 ⑨近代と都市空間 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：都市空間について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 11. 都市空間と公共空間の分離 ⑩都市と地域のコミュニティ 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：コミュニティ文化について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 12. 都市空間における相互行為：「秘密と信頼」 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：「秘密と信頼」について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 13. 行為と演技 ⑪ドラマツルギー 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：ドラマツルギーについて授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 14. 行為と演技 ⑫役割距離 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：役割距離について授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分） 15. 授業の総括：コミュニケーションを読み解く視点としての社会学 予備内容：前回授業資料や参考図書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分） 復習内容：授業全体の総括として授業資料および参考図書等を用いて、ミニレポート課題に取り組む（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
☐ ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
本科目では、現代社会のコミュニケーションにまつわる諸現象を社会学の視点から考える。こうした視点を得ることは、卒業認定・学位授与の方針として示されている「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のなかでも、特に「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」などを養うことにつながる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
レポート課題の提出などは、Campus-Xsを通して行う。また授業内ではコミュニケーションの社会的意味をより分かりやすくイメージしてもらうために、レジュメだけでなく映像資料も積極的に使用する。コミュニケーションと社会がどのような関係にあるのかを意識しながら、映像資料（コミュニケーションに関するドキュメンタリーや映画など）を視聴することで、講義内容への理解がより深まることが期待される。

実務経験の有無及び活用

備考